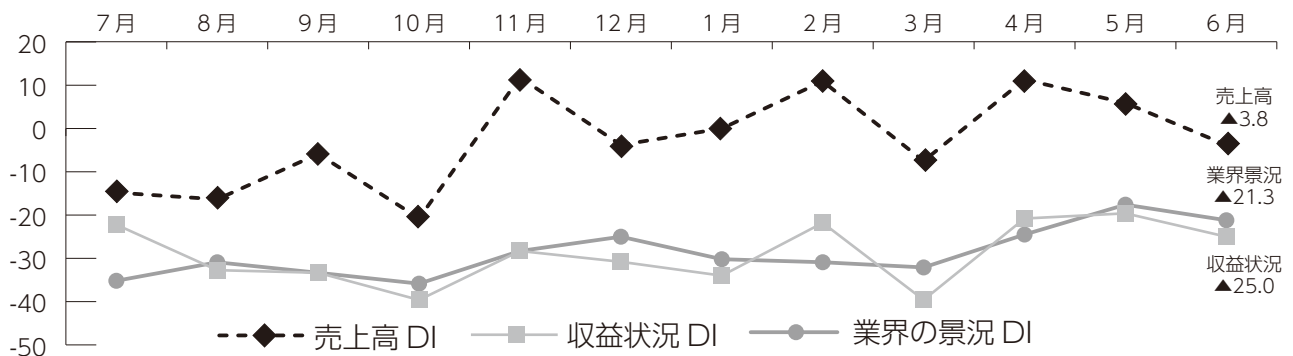


コスト上昇に見合う転嫁ができず 収益改善の足かせに

概況

コロナ沈静化や県独自の宿泊キャンペーンの影響もありサービス業と小売業で業況の改善がみられた。一方、原材料・燃料価格高騰の継続や資材供給の乱れにより、製造業では業況が悪化した。多くの業種でコストが上昇しているが、それに見合う十分な転嫁はできておらず、収益改善の足かせとなっている。

主要DIの推移（全体）



景況天気図（前年同月比）

	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況
全業種平均	☁	☁	☀	☁	☁	☁	☁	☁	☁
製造業	食品	☁	☀	☁	☁	☁	☁	☁	☁
	繊維製品	☀	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
	窯業・土石	☁	☁	☀	☁	☁	☁	☁	☁
	機械・金属	☁	☁	☀	☁	☁	☁	☁	☁
	その他	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
非製造業	卸売業	☁	☁	☀	☁	☁	—	☁	☁
	小売業	☁	☁	☀	☁	☁	—	☁	☁
	商店街	☁	☁	☀	☁	☁	—	☁	☁
	サービス業	☀	—	☁	☁	☀	—	☁	☁
	建設業	☁	—	☁	☁	☁	—	☁	☁
	運輸業	☁	—	☀	☁	☁	—	☁	☁



天気図は、各景況項目について調査月と前年同月を比較して、DI値を基に判断したものです。
DI値 = (増加・好転) - (減少・悪化) ÷ 回答数

コメント掲示板

《製造業》

食 料 品	<p>[菓子] 人の動きもよく売上は増加したが、エネルギー価格及び原材料価格上昇の影響で収益は悪化した。販売価格の見直しをせざるを得ない状況。</p> <p>[畜産食料品] 豚については伝染病及び天候の影響もあり、全国的に出荷頭数が落ち込んでいる。また、光熱費と資材の値上がりに対して一部転嫁できたが、十分な水準には至っておらず収益は悪化した。</p>
織 維 製 品	<p>[織物] 和装関連の絹製品は僅かながら回復の兆しがみえる一方で、ゆかた関連は依然として厳しい。婦人服地については売上高が増加した。</p> <p>[外衣・シャツ] 仕事量が戻りつつあり売上高は増加する中、人手不足に苦慮している。</p>
窯業・土石	<p>[生コンクリート] 生コンの出荷量は、公共工事割合が高い山間部は低調であったが、大手メーカーの改修工事があった東毛地域は好調であった。資材価格が高騰しており価格転嫁が急務となっている。</p> <p>[碎石] 吾妻地域では新年度の発注が始まったこともあり出荷量は増加しているが、全体的に発注量は少ない中、製造コストの上昇が収益を圧迫している。</p>
機 械 ・ 金 属	<p>[めっき] 円安進行の影響もあり製造コストが上昇している。一部の得意先では転嫁に理解を示している。</p> <p>[電機] 部品の供給が依然として安定しない。電線や端子といった端末加工部品まで品薄状態が続いている。</p> <p>[自動車関連] 販売価格が上昇している企業が見られるも、依然として半導体不足と部品供給不安定の影響で売上高は減少している。</p>
そ の 他	<p>[紙製品] ロシアによるウクライナ侵攻の影響もあり、更なる段ボールや資材の値上げが危惧される。また、電気料金の上昇も深刻である。</p> <p>[印刷] 社会的に価格転嫁の理解が進み、新規案件に関してはスムーズに交渉できている。</p> <p>[ゴム製品] 依然として需要は落ち込んでおり、売上高は減少した。</p>

《非製造業》

卸 売 業	<p>[食料品] 小麦粉・油脂・砂糖等の値上がりが昨年から止まらない。売上高は増加するも収益は悪化しており、経営状況は厳しい。</p> <p>[酒類] 県の警戒度が下がり、酒類提供の自粛が行われなかったこともあり収益状況は好転した。コロナ流行前水準には戻っていないものの、今後の消費拡大を期待。</p>
小 売 業	<p>[家電] 梅雨明けとともに夏物商品の動きが活発化し、エアコンの点検修理の需要も高まり業況は好転している。一方でテレビ・オーディオ・レコーダーといった娯楽関係家電の動きは鈍い。</p> <p>[燃料] 需要は高まり販売価格も上昇していることから売上は増加した。政府による元請に対する補助金は9月末までの予定であり、今後の動向を注視している。</p>
商 店 街	<p>[高崎市] コロナ流行に落ち着きが見られ賑わいが戻りつつある。売上は増加傾向にあるが、仕入価格の上昇により値上げせざるを得ない状況にあり、消費者の購買意欲の低下を懸念している。</p> <p>[藤岡市] 降雹で窓ガラスが破損するほどの自然災害が発生した。また、梅雨入りからの天候悪化、下旬の梅雨明けからは猛暑と気象の悪影響を受け人の流れは落ち込んだ。</p>
サービ 業	<p>[四万温泉] 愛郷ぐんまキャンペーン延長の影響で入込客数は大幅に増え、ほぼ満室の日もあった。同キャンペーンの商品券を隣県宿泊者にも配布するようになり、近隣商店街の活性化にもつながった。</p> <p>[建築設計] ウッドショックの影響もあり、木造住宅1棟に対して100万円以上のコスト増となったケースもみられる中、予算に合わせた設計が求められている。</p>
建 設 業	<p>[建設] 群馬県は建設資材価格などの高騰を受け、資材基礎単価に対する調査頻度を引き上げ、市場価格に即した単価設定を行うことを発表した。高騰に苦しむ業界の一助となることを期待する。一方、民間工事では予算の変更に難色を示され、利益率が低下している。</p> <p>[塗装工事] 仕事量は前年に引き続き落ち込んでいる。都内では人手不足の状況にあるが、本県ではそのようなことはなく仕事を求める声が多い。</p>
運 輸 業	<p>[一般貨物運送] 燃料価格は依然として高止まりの状況が続いている。荷動きについては、猛暑の影響もあり飲料水が好調。一方、藤岡地域では降雹による農作物の被害が発生し、代替輸送品目調達のためのルート変更等に苦慮。</p>

※本調査は、情報連絡員54人の報告を取りまとめ、その概要を示したものです。